

北陸圏広域地方計画スケルトン（案）

平成 20 年 3 月

北陸圏の現状と課題

(1) 北陸圏の現状

- 良質な生活環境
- 豊かな自然環境
- 独自性のある文化
- 都市と農山漁村が近接したゆとりと利便性とを兼ね備えた環境
- 多様な産業の集積
- 三大都市圏や環日本海諸国をはじめとする東アジアに対する地理的優位性

(2) 北陸圏の課題

- 雪や地震など厳しい自然災害への備え
 - ・ 地震に対する備え
 - ・ 風水害・土砂災害・流木等被害に対する備え
 - ・ 降雪に対する備え
- 美しい自然環境・地球環境の保全への対応
 - ・ 森林や農業等の有する多面的機能の保持や水循環系の健全性の確保
 - ・ 地球環境の改善への貢献
- 接続する都市と自然豊かな農山漁村との融合が生み出す魅力の活用
 - ・ 都心の賑わいの回復への対応
 - ・ 伝統文化や自然と共生する暮らしを色濃く残す農山漁村の魅力の維持・活用
 - ・ 子育てしやすい生活環境の充実
 - ・ 中高年の積極的な社会参加等の充実
- 日本海側有数の人口・産業・経済等の集積の活用
 - ・ 産業活力の向上に向けた既存企業群の強みや優秀な人材等の活用
 - ・ 高付加価値化に向けた特色ある先端産業やエネルギー供給基地として培われた技術の活用
- 食料を供給し食文化を育む農林水産業の活性化
- 日本海に面し、三大都市圏から等距離にある地理的優位性の活用
 - ・ 需要が拡大する国内外の物流や旅客流動への対応
 - ・ 新たな物流や旅客の需要創出に向けた国内外の物流・流通網の充実・活用
- 太平洋側の大規模地震など災害リスクへの対応

- 豊かで多様な自然や文化資源の集積など地域資源の活用
 - ・ 観光・交流の強化に向けた魅力ある地域資源の活用
 - ・ 北陸圏の知名度向上
 - ・ 新たな観光需要の喚起
 - ・ 交流・定住化に向けた良質な生活環境の活用
 - ・ 国際的な文化・学術交流のテーマとなる世界に誇る知恵・技術の活用
- 漂着ゴミ、黄砂などの増大する環境問題への対応

北陸圏の将来像

- (1) 人々をひきつける「暮らしやすさ」日本一
- (2) 世界に開かれた日本海側における交流の中核拠点

新しい将来像実現に向けた戦略目標

- (1) 安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実
 - 災害に強い安全・安心な暮らしの充実
 - ・ 災害に強い国土形成（地震・津波対策、克雪対策、風水害・土砂災害・流木対策、海岸保全・高潮対策）
 - ・ 減災に資する体制の構築
 - ・ 災害時の応援体制と応急復旧体制の整備
 - ・ 原子力発電所の安全・安心の確保
 - 美しい国土の保全・管理と地球環境にやさしい暮らしの充実
 - ・ 自然環境・水循環系の保全
 - ・ 豊かな日本海の保全と管理
 - ・ 地球温暖化対策
 - ・ 資源循環と不法投棄対策
 - ・ 生活環境の改善
 - 子育て支援の充実及び女性・中高年をはじめ、誰もが暮らしやすい生活環境の形成
 - ・ 子育て支援
 - ・ 女性の就業・起業や社会参加
 - ・ 安心して生きがいのある暮らしの充実
 - 農山漁村と都市が共生する持続可能な接続型都市圏の形成
 - ・ 都市機能の強化
 - ・ 優れた住環境の整備
 - ・ 安心とゆとりのある暮らしやすい農山漁村の形成

- ・ 都市と都市、都市と農山漁村の交流・連携
- ・ 安全・安心な移動空間の形成

(2) ものづくり文化と進取の気性で培われる国際競争力のある産業の育成

- 地域主体の戦略に基づく企業や人材誘致による地域産業の活性化
 - ・ 国内外からの企業誘致の推進
 - ・ 起業意欲にあふれる人材の誘致・定着と人材育成
- イノベーションの促進による活発な新事業・新産業の創出
 - ・ 新事業・新産業創出の支援
 - ・ 先端技術の研究開発拠点の形成
- 食料・木材等の安定供給と食文化を活かした農林水産業の多角的な展開
 - ・ 農林水産業に取り組む人材の確保・育成
 - ・ 美しい農山漁村風景を支える生産基盤、集落機能の適切な維持・向上
 - ・ 食料産業クラスターの形成による地域食品産業の活性化
 - ・ 林業経営意欲・雇用の創出
 - ・ 食材のブランド化の推進
 - ・ 食をテーマとした交流・観光の強化

(3) 三大都市圏や環日本海諸国をはじめとした東アジアにつながる日本海側の中枢拠点の形成に向けた基盤の強化

- 国内外に展開する信頼性の高い交通ネットワークの形成・強化
 - ・ 産業と連携した物流機能の形成・強化
 - ・ 国内外に展開する旅客機能の形成・強化
 - ・ 海域・空域の安全確保・保安対策
- 太平洋側の安全・安心に貢献する日本海側の防災拠点・ネットワークの強化
 - ・ 広域的な防災支援と代替性を発揮する交通機能の強化

(4) 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出

- 国内・国際観光・交流の充実
 - ・ 魅力ある観光地の形成
 - ・ 受入環境の充実
 - ・ 広域交通ネットワークを活用した多様で広域的な観光ルート、メニューの創出
 - ・ 国内外に向けた観光プロモーション
 - ・ 体験型滞在、二地域居住、定住化、U J I ターン
- 伝統・文化の継承と発信
 - ・ 雪国文化による体験・交流と情報発信
 - ・ 歴史・文化を活かした地域個性の構築
- 環境をテーマとした環日本海諸国をはじめとした東アジアなどとの国際協

調・貢献の推進

- ・ 国際協調・貢献の推進
- **国際的な文化・学術・スポーツ交流の推進**
 - ・ 国際研修・会議・スポーツ交流の推進

広域連携プロジェクト

隣接圏域との交流・連携

※本資料は、北陸圏広域地方計画協議会準備会等における検討状況を整理したものであり、今後の追加・変更がありうるもの